2025/07/18 10:44

UNIVERSAL PASSPORT RX[1]

below 提案の目的と概要 授業の目的: EQ (心の認能強数)を登解し、艱難のリーダーとして、人々をモチベートして、艱難を成長に向けてけん引する能力を生 するとともに、自分の感情を重要なキャリアリソースとして位置づけ、戦略的に活用することの価値を学習する。 概要: EQ (Emotional Intelligence Quatient心の知能指数)の学習と専例研究 組織でリーダーシップを発揮する上で、また、キャリアデザインの実効性を高めるための感情能力を理解、向上させるた 1990年以降開発され、企業の社長教育やも幅広く活用されているEQ (Emotional Intelligence Quotient 「心の功能指数 を学習する。講会の中で様々なオャリアをおいている支充を支入に講奏を行うことで多様化した社会や組織の中でどの うにキャリアを形成していくかについての理解を深める構成となっている。 <支援的数方> この最近し、文部科学省で推奨される「実務経験のある数員による投業科目」として、「キャリアデザインに関する実続 を提案に活かし、実践的数育を行う提案科目」に位置付けられる。担当数員は、30年超の企業人事経験と国家資格である ャリフョンサルタントとしての労働市場によける人材始齢事業を見な置する契約駆除を通じて、企業や様々なた社会的 関係イベントのリアリティに基づく学習と演習を通じて、履修学生に自己内在化するための実践型の教育構成となってい る。 ・2 学期日程) 認言義臣で見して、たち活用、教育、評価、効益、通識、運搬金やキリアなどー法の面 関係イベントのリアリティに基づく学習と演習を通じて、履修学生に自己内在化するための実践型の教育構成となってい る。 ・2 学期日型> 認言素更して目した。このしているもおいろ人材始齢事業を見な置きの交互換の整めを通じて、全部様をなったの もの 2 10/6、210/13、③10/20、④10/27、④11/10、⑥11/17、①12/1、⑨12/1、⑨12/15、⑨12/22 集中講話日 上型日(月 1回 2コマ連続 4 ・5 限目) ④ 10/18、@11/22, ③12/20 合計 1 6 講義 Purpose of the class: Understanding EQ (Emotional Intelligence Quotient) and learning the ability to motivate people and drive the organiza toward growth as an organizational leader, as well as learning the value of positioning one's emotions as an importan career resource and using them strategically. Overview: EQ (Emotional Intelligence Quotient) and learning the value of positioning one's emotions as an importan career resource and using them strategically. Overview: EQ (Emotional Intelligence Quotient) induces and kince 1990 to understand and improve emotions abilities for leadership in organizations and to enhance the effectiveness of career design, is widely used in corporate employee training. The leature will include a walk through various careers. The ocurse is designed to deepen student understa	025/07/18 10:44	UNIVERSAL PASSPORT RX[1]
利用料 全球会内相見之年月 回数内 単位本 20年位 20年位 対象子形 全 1 1 第二日 1 1 1 1 第二日 2 1 1 1 1 第二日 2 1 1 1 1 1 第二日 2 2 1 2 1	科目名	グローバル特定課題
Nume Nume 学校会 20世後 対象字部 全 単点教書(所論) 作法 上人 所識: 開品部 2046/85×2.8.2	曜日・講時	月曜5限 教室
Number 会社 1014 104<	科目群	全学教育科目先進科目-国際教育
単式教員(所協) 竹木 上人 所属: 開設額 2/4/5/8 ビスター 開設額 2/4/5/8 ビスター 料目ナンパリング ZAC-GLB812E 装着 スポー と見読取用 C 公式の「加速数」を注意したまたまたまた。 日本 と見読取用 C と言語認知 【回際共営】ブローバルや定活剤 C ごれたりーダーシップ 海道したりーダーシップ 建築工作 「回線大営」ブローバルや定活剤 C C ごれたりーダーンシーグ シーグ・シップ 建築工作 「回線大営」ブローバルや定活剤 C C ごれたりのしたいたいでありためい としたののしたしたののしたの としたののしたの としたののしたり、ションパード 「回線大営」ブローバルや定活剤 C (modia) Ledoership Ledoership using 20 (motal intelligence quotient) Ledoership using 20 (motal intelligence quotient) Ledoership Using 20 (motal intelligence quotient) Ledoership USing 4 (motal and theligence quotient) Usetrue ship using 20 (motal intelligence quotient) Ledoership USing 4 (motal and theligence quotient) Ledoership USing 4 (motal and theligence quotient) Usetrue ship using 20 (motal intelligence quotient) Ledoership USing 4 (motal and theligence quotient) Ledoership USing 4 (motal and theligence quotient) Usetrue ship using 20 (motal intelligence quotient) Ledoership USing 4 (motal and theligen	単位数	2.0単位
With 2/4/6/9ビイスター 和日ナンパリング ZAC-GL8812E 使用言語 案応 メディア選擇和日 O 生業院専科目 O 生業院専科目 D 生業院専用目 D 生までの知識情致)を選択したリーダーシップ 神秘は、専用専用日上月:1回 2 コマ激活の豊非線な性体広されます。詳細日程は下記参照のこと 低速の可能: EQ (-Oの知識情致)を選択したリーダーシップ 神秘は、専用専用日上月:2000年の生活の豊新な したいたす Schedule: The lectures will be led every Monday and once a month as two consecutive intensive lectures. For details, please s below 振客の目的: EQ (-Oの知識情致)を選択し、製鋼のリーダーとして、人がをモディートレて、制帯系は底に向けてけん引する仲力な会 するとともに、自分の認情報力を選択し、製鋼のリーダーとして、人がをモディートレて、制帯系は底に向けてけん引する仲力を等する。 概要: EQ (-Enotional Intelligence Quaternti-Oの知識情致)の 学習と予防研究 EQ (-Enotional Intelligence Quaternti-Oの知識情致)の 学習と予防研究 EQ (-Enotional Intelligence Quaternti-Oの知識情致)の 学習と予防研究 EQ (-Enotional Intelligence Quaternti-Oの知識情致)の 学習と、ことの分析性な力などの 表示 生 ジアニンアンズを発展するより、定く差、パッシアブゲインの実施をなうたとなら発生のたたた社会や実際のつかどの ンドモャリア 差示にないて、実施的改革を行う互換相目 として、「キャリアデザインに受する実施している世界を取りまたないるまでいる。 、実能的会 、実施的会 、実施的会 生 ジェック発展し、実施制なたなインロンズの差距を見かられたれた社会が実際の中でどの シードキリア 差示にないて、実施的会 またましている工程を取りまたる「実験発動のなる装置による気が見なまたなっている。 、実施的会 この、実施制は、実施制なたなっている。 、実施的会 モデーロロングライに至びく実施したなたたた人材料は空楽をできるに含む発音な考測している工程を考えていまでする定式の意味をなっている。 、実施的会 モデーロロングを実施したなたたいたまのまたの実施したなたたた、 またままましている工程を取り出まれたいでの注意でもなど、 素がなたたたたまのなりの実施したまたたたいたまたの実施を使うしたまれたい。 などやなたたたたまのなりの実施したまたたいまたままましたいたまれたいたまたたたたまたの実施を使うの実施したたたたたまたの実施をしたたたたまたの実施したまたたたたまたのなりまたがなまためることで したたたたまたたたまたの実施を使うした。 またままましたい。 これの大学で学がまたまたではたまれたまたたまたたたまたたまたたたたたたまための実施したたたまたための実施したたたたまたたたたたまたの実施したまたたたたまたたたたまたからの実施したまたたたまたたたまままたたたまままままたたたまままままままたたたままままたたちたまままたたたたまままままま	対象学部	全
Automation Automation Automation Automation 株式 Automation AF7(7)版学科目 O 工業校学科目 O 工業校学科目 C USE CO (CONSUMP) CONTACTION CONTACT	担当教員(所属)	竹内上人所属:
成日語 支払 スプイフ程業科目 〇 1支援京科目 〇 1支援京科目 〇 1支援京科目 日本(大) (二) (二) (二) (二) (二) (二) (二) (二) (二) (二	開講期	2/4/6/8セメスター
2.47.7 没受お目 〇 主要提来相回 名学部の間除内規主たは学生受覧を参照。 【国際共動】ウローバル有変現 EQ (心の知路挑散) を活用したリッグレシップ 講義は、毎週月曜日と月に1回 2コマ連筋の集中読まで構成されます。詳細日程は下記参照のこと 信心却の認知数10 と読んしたリッグレシップ 講義は、毎週月曜日と月に1回 2コマ連筋の集中読まで構成されます。詳細日程は下記参照のこと 信心却の認知数10 と読んしたりのグーシンク 信心が目のための Global Loadership Loadership using EQ (mental intelligence quotient) Lecture schedule: The lectures will be held every Monday and once a menth as two consecutive intensive lectures. For details, please s below 投票の目的と説要 標準の目的: EQ (functional Intelligence Quotient) Constanting 20 (mental intelligence Quotient) たの知能指数) の学習と言の研究 EQ (functional Intelligence Quotient にの知能指数) の学習と言の構成となっている。 2.8ま: EQ (functional Intelligence Quotienticの対能指数) の学習と言の研究 ER (fonctional Intelligence Quotient) たの対能指数) ことの意味をなた構成をなりために うにキャリアを防成していくかけいていての思想を含め構成となっている。 2.9を時間をすっ、注意がなくたいままたなどの目的などのでの目的を構成となっている。 2.95時代表していく方用を描述できたのためままたは、2月1日とこ、FF キャリアデゲインに定する理解 を容式に赤し、実績的整合で注意がないてきなきなどの意味のたまるでいる。 2.05時代表の 2.05時代表の 2.05時代表の 2.05時代表の 2.05時代表の 2.05時代表の 2.05時代表の 2.05時代表の 2.05時代表の 2.05時代表の 2.05時代表の 2.05時代表の 2.05時代表の 2.05時代表の 2.05時代表の 2.05時代表の 2.05時代表の 2.05時代表の 2.05時代表の	 科目ナンバリング	ZAC-GLB812E
A 学部の履修方版または学生保護を参照。 【国際状態】/ ローバル考定講題 EQ (心の思維指数)を活用したリーダーシップ 議義日程: 議義大和三 「、満奏は、前週万曜日と月に1回 2コマ道路の集中損機で特成されます。詳細日程は下記参照のこと Bibbal Topics on Global Leadership Leadership using EQ (mental Intelligence quotient) Leadership using EQ (mental Intelligence quotient) Lecture schedule: The lectures will be hid every Monday and once a month as two consecutive intensive lectures. For details, please a below Ug# 0目的と研要 Ug# 0目的と研要 Sg (m) 51: EQ (Coの別照相数) を理解し、範疇のリーダーとして、人々をモディートして、範疇皮は真に向けてけ人利する能力を登 Sg (m) 51: EQ (Coの別照相数) を理解し、範疇のリーダーとして、人々をモディートして、範疇皮は真正のけてけ人利する能力を the construction in the ligence Quatern いの知能指数) の学習と参がでいる支援して Sg (m) 51: EQ (Construction Intelligence Quatern いの知能指数) の学習と参がでいる支援した真めるための感情推力を理解 Sg (m) 52: EQ (Construction Intelligence Quatern いの知能指数) Sg (m) 52: Construction Intelligence Quatern いの知能指数 EQ (Construction Intelligence Quatern いの知能指数) Sg (m) 52: Construction Intelligence Quatern いの知識 EQ (Construction Intelligence Quatern いの知能指数 Sg (m) 42:		—————————————————————————————————————
日期株林園 プローバル検定課題 EQ (心の思避指数)を活用したリーダーシップ 講真日前: 講真は、 時間月層と月に1回 2コマ連続の集中講員で構成されます。詳細日程は下記参照のこと (日)の目でDpris on Global Leadership Leadership using EQ (mental intelligence quotient) Leadership using EQ (mental intelligence quotient) September EQ (Coostal Readership Leadership USA) の学習と専門研究 1990年以協調会され、全球の社長会なられている知道を加えるためではなどきたいたいちログローの加速制度 やすびきる。 構成の中でないたいなどの実施したとないないなどの うにキャリアモダルンプを参加するためになどをすいたも見いている場合にある提供はなります。 1990年以協調会され、全球の社長のことしての分析中にならますりためたいたいちログ うにキャリアモダルンしている正用を取りきて保護される「支援を構成したした」のはなは、301年頃のなど本事業を認定の成立情があるための可能的などとの うにキャリアエチルメントとしての分析中にないまはあれる人類になどなっている。 く実時的数字 この読練は、文ス科ジ学家で指導される「支援を認定した」は最大などでならえば、数学具には自己内在化するための支援防御機を出て、たまやななな社自びの している正にの意味を知っている正式のより、1000~115 (Salata) (メディア授業科目	0
EQ (心の知能挑散)を活用したリーダーシップ 減費日: 読者は、 (市道月曜日と月に1回 2コマ進載の集中満会で構成されます。詳細日径は下記参照のこと Gobal Topics on Gobal Leadership Leadership using EQ (mental intelligence quotient) Letture schedule: The lettures will be held every Monday and once a menth as two consecutive intensive lectures. For details, please s leave 授軍の目的と概要 授業の目的: EQ (心の知能挑散) を振興し、粗雑のリーダーとして、人々をモチベートして、粗積を成真に向けてけん引する使力をす するとともに、自分の感情を重要なキャリアリソースとして(加速づけ、戦略的に活用することの価値を学習する。 構築: EQ (Emotional Intelligence Quatient心の知能能) の学習と事例研究 粗雑でリーダーシップを熟得する上で、また、キャリアデザインの変効性を高めるための感情能力を理解、向上させるた 1990年以離散をれ、企業の世長教育でも施なく活用されているEQ (Emotional Intelligence Quotient 「ふの認能散敗 とや君 する、講家のIP でなるなキャリアメをか、CP になる生をなえた実活調査で行うことで多体化した社や平穏風の中でごの うにキャリアを形成していくかについての理解を要求のる構成をなっている。 < <支援的教育> この場論は、文部科学会で推奨される「実務経験のある教具による人類特徴、数定いていためごを求人事経をした思想表で行うことで多体化した社や平穏風の中でごの うにキャリアンを形成していくかについての理解を変める構成となっている。 < <支援的教育> この場論は、文部科学会で推奨される「実務経験のある教具による人類特徴、教育、Pie 私知、実職、離職後のキャリアムど一部の原 関係ペントのリアリティに基づく学習と満習を通じて、履体学生に自己が良化がないの変換型の改善換構成となってい る。 <2年期目を取用も気間を取りまたしての分析になる本キャリアはになっための実践型の改善換載をなってい る。 このすれたこの「マンダマン学法」調査を通じて、「数学学生に自己が良化でなるための実践型の改善換構成となってい る。 <2年期日や	主要授業科目	各学部の履修内規または学生便覧を参照。
授業の目的と概要 授業の目的: EQ (心の知能強致) を理解し、組織のリーダーとして、人々をモチベートして、組織を成果に向けてけんぷする紙力を含 するとともに、自分の感情を重要なキャリアリソースとして位置づけ、戦略的に活用することの価値を学習する。 概要: EQ (Enotional Intelligence Quatient心の知能指数)の学習と事例研究 組織でリーダーシップを発酵する上で、また、キャリアデザインの実内性を高めるための感情能力を理解、向上させるた 1990年以路階終され、全菜の仕負教育でも値広く活用されているEQ (Enotional Intelligence Quatient 「心の知能指数 を学習する。講義の中で様々なキャリアを歩んでいる実在者を交えた講義を行うことで多様化した社会や組織の中でどの うにキャリアを形成していくかについての理解を深める構成となっている。 マ実説的教育 この講義は、文部科学者で推奨される『実務経験のある教員による授業科目』として、「キャリアデザインに関する実務 を授業に訪小し、実践的教育を行う提案科目」に位置付けられる。担当教員は、30年期の空楽人事経験と国家資格である ャリアコンサルタントとしての労働市場における人材供給事業を含む経営者の実説の経験を通じて、企業や様々な社会的 職 で発生している雇用を取り考え様々なプロセスである採用、教育、評価、処益、減減、難職後のキャリアなど一画の雇 関係イベントのリアリティに基づく学習と演習を通じて、履修学生に自己内在化するための実践型の教育構成となってい る。 <2 字期旧程> 通常講義日 月曜日 5 原目:16:20-17:50 10/6, (310/13, 310/02, (310/27, 611/10, 611/17, (312/1, ⑥12/15, ⑨12/15, ⑨12/22 集中講義昭 上曜日 (月 1回 2コマ連接) 4 · 5 段目) ② 10/18, ②11/12, ③12/20 合計16講奏 Purpose of the class: Understanding EQ (Emotional Intelligence Quotient) and learning the ability to motivate people and drive the organiza toward growth as an organizational leader, as well as learning the value of positioning one's emotions as an importan career resource and using them strategically. Overview: EQ (Emotional Intelligence Quotient) and learning the ability to motivate people and drive the organiza toward growth as an organizational leader, as well as learning the value of positioning one's emotions as an importan career resource and using them strategically. Overview: EQ (Emotional Intelligence Quotient) KDQ), which has been developed since 1990 to understand and improve emotion abilities for leadership in or	授業題目	EQ (心の知能指数)を活用したリーダーシップ 講義日程: 講義は、毎週月曜日と月に1回 2コマ連続の集中講義で構成されます。詳細日程は下記参照のこと Global Topics on Global Leadership Leadership using EQ (mental intelligence quotient) Lecture schedule: The lectures will be held every Monday and once a month as two consecutive intensive lectures. For details, please see
 この講義は、文部科学省で推奨される「実務経験のある教員による授業科目』として、「キャリアデザインに関する実務 を授業に活かし、実践的教育を行う授業科目』に位置付けられる。担当教員は、30年超の企業人事経験と国家資格である ャリアコンサルタントとしての労働市場における人材供給事業を営む経営者の実践的経験を通じて、企業や様々な社会的 織で発生している属用を取り巻く様々なプロセスである採用、教育、評価、処遇、退職、離職後のキャリアなど一連の雇 関係イベントのリアリティに基づく学習と演習を通じて、履修学生に自己内在化するための実践型の教育構成となってい る。 <2 学期日程> 通常講義日 月曜日 5 限目:16:20-17:50 ① 10/6(, 010/13, 010/20, 010/27, 011/10, 011/17, 012/1, 012/8, 012/15, 012/22 集中講義日 土曜日 (月1回 2コマ連続 4・5 限目) ② 10/18, 0211/22, 0312/20 合計16 講義 Purpose of the class: Understanding EQ (Emotional Intelligence Quotient) and learning the ability to motivate people and drive the organiza toward growth as an organizational leader, as well as learning the value of positioning one's emotions as an important career resource and using them strategically. Overview: EQ (Emotional Intelligence Quotient) study and case study The Emotional Intelligence Quotient (EQ), which has been developed since 1990 to understand and improve emotions abilities for leadership in organizations and to enhance the effectiveness of career design, is widely used in corporate employee training. The lecture will include a wakk through various careers. The course is designed to deepen students understanding of how to develop their careers. <practical education<br="">This lecture is positioned as a "class course by a faculty member with practical experience" recommended by the</practical> 	授業の目的と概要	 EQ(心の知能指数)を理解し、組織のリーダーとして、人々をモチベートして、組織を成長に向けてけん引する能力を学習 するとともに、自分の感情を重要なキャリアリソースとして位置づけ、戦略的に活用することの価値を学習する。 概要: EQ(Emotional Intelligence Quatient心の知能指数)の学習と事例研究 組織でリーダーシップを発揮する上で、また、キャリアデザインの実効性を高めるための感情能力を理解、向上させるため 1990年以降開発され、企業の社員教育でも幅広く活用されているEQ(Emotional Intelligence Quotient 「心の知能指数」) を学習する。講義の中で様々なキャリアを歩んでいる実在者を交えた講義を行うことで多様化した社会や組織の中でどのよ
通常講義日 月曜日 5限目: 1 6 : 2 0 - 1 7 : 5 0 ① 10/6, ②10/13, ③10/20, ④10/27, ⑤11/10, ⑥11/17, ⑦12/1, ⑧12/8, ⑨12/15, ⑩12/22 集中講義日 土曜日 (月1回2コマ連続 4 · 5限目) ② 10/18, ②11/22, ③12/20 合計 1 6 講義 Purpose of the class: Understanding EQ (Emotional Intelligence Quotient) and learning the ability to motivate people and drive the organizat toward growth as an organizational leader, as well as learning the value of positioning one's emotions as an important career resource and using them strategically. Overview: EQ (Emotional Intelligence Quatient) study and case study The Emotional Intelligence Quotient (EQ), which has been developed since 1990 to understand and improve emotiona abilities for leadership in organizations and to enhance the effectiveness of career design, is widely used in corporate employee training. The lecture will include a walk through various careers. The course is designed to deepen student understanding of how to develop their careers in the diversified society and organizations through lectures with real people who have been in a variety of careers. <practical education<br="">This lecture is positioned as a "class course by a faculty member with practical experience" recommended by the</practical>		この講義は、文部科学省で推奨される『実務経験のある教員による授業科目』として、「キャリアデザインに関する実務経験 を授業に活かし、実践的教育を行う授業科目』に位置付けられる。担当教員は、30年超の企業人事経験と国家資格であるキ ャリアコンサルタントとしての労働市場における人材供給事業を営む経営者の実践的経験を通じて、企業や様々な社会的組 織で発生している雇用を取り巻く様々なプロセスである採用、教育、評価、処遇、退職、離職後のキャリアなど一連の雇用 関係イベントのリアリティに基づく学習と演習を通じて、履修学生に自己内在化するための実践型の教育構成となってい
Understanding EQ (Emotional Intelligence Quotient) and learning the ability to motivate people and drive the organizatioward growth as an organizational leader, as well as learning the value of positioning one's emotions as an important career resource and using them strategically. Overview: EQ (Emotional Intelligence Quatient) study and case study The Emotional Intelligence Quotient (EQ), which has been developed since 1990 to understand and improve emotionar abilities for leadership in organizations and to enhance the effectiveness of career design, is widely used in corporate employee training. The lecture will include a walk through various careers. The course is designed to deepen student: understanding of how to develop their careers in the diversified society and organizations through lectures with real people who have been in a variety of careers. <practical education<br="">This lecture is positioned as a "class course by a faculty member with practical experience" recommended by the</practical>		通常講義日 月曜日 5 限目:16:20-17:50 ① 10/6, ②10/13, ③10/20, ④10/27, ⑤11/10, ⑥11/17, ⑦12/1, ⑧12/8, ⑨12/15, ⑩12/22 集中講義日 土曜日(月1回2コマ連続 4・5限目) ② 10/18, ②11/22, ③12/20
EQ (Emotional Intelligence Quatient) study and case study The Emotional Intelligence Quotient (EQ), which has been developed since 1990 to understand and improve emotional abilities for leadership in organizations and to enhance the effectiveness of career design, is widely used in corporate employee training. The lecture will include a walk through various careers. The course is designed to deepen students understanding of how to develop their careers in the diversified society and organizations through lectures with real people who have been in a variety of careers. <practical education<br="">This lecture is positioned as a "class course by a faculty member with practical experience" recommended by the</practical>		Understanding EQ (Emotional Intelligence Quotient) and learning the ability to motivate people and drive the organization toward growth as an organizational leader, as well as learning the value of positioning one's emotions as an important
		EQ (Emotional Intelligence Quatient) study and case study The Emotional Intelligence Quotient (EQ), which has been developed since 1990 to understand and improve emotional abilities for leadership in organizations and to enhance the effectiveness of career design, is widely used in corporate employee training. The lecture will include a walk through various careers. The course is designed to deepen students' understanding of how to develop their careers in the diversified society and organizations through lectures with real people who have been in a variety of careers. <practical education<="" td=""></practical>
		This lecture is positioned as a "class course by a faculty member with practical experience" recommended by the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology as "a class course that provides practical education by

2025/07/18 10:44

UNIVERSAL PASSPORT RX[1]

2025/07/18 10:44	UNIVERSAL PASSPORT RX[1]	
	utilizing practical experience in career design in the classroom. Through over 30 years of corporate human resource experience and practical experience as a manager of a human resource supply business in the labor market as a caree consultant, a national professional qualification, the faculty member in charge of this course will provide students with an understanding of the reality of the various processes surrounding employment that occur in companies and various social organizations: recruitment, education, evaluation, treatment, retirement, career after leaving employment, and a series of other employment-related events. The program is structured as a practical education program for students to internalize through reality-based learning and exercises a series of employment-related events such as recruitment, training, evaluation, compensation, retirement, and post-employment career, which occur in companies and various social organizations.	1
	2nd semester schedule: Regular lecture days: Mondays 5th period: 16:20-17:50 ① 10/6, ②10/13, ③10/20, ④10/27, ⑤11/10, ⑥11/17, ⑦12/1, ⑧12/8, ⑨12/15, ⑩12/22 Intensive lecture days: Saturdays (2 consecutive lessons, 2nd and 3rd periods, once a month) ② 10/18, ②11/22, ③12/20 Total of 16 lectures	
学修の到達目標	学習の到達目標: EQの概念の理解とそれぞれのEQについての活用方法やトレーニングプログラムを自ら設計して、日常生活の中で活用でき 段階まで引き上げると十に、理解を深める上で、グループ演習課題として、EQを説明するエピソード形式の関連動画を作り する。 Learning Objectives:	
	In order to deepen the understanding of EQ, the participants will create an episodic video explaining EQ as a group exercise. 授業内容・方法と進度予定 原則オンライン+土曜日に対面授業(オンラインでも可) 期待成果: EQの理解と自己活用によるリーダーシップ力の養成	
授業内容・方法と進度予定	 EQの理解(8つのEQの要素):(講義+GW) 理想的なEQモデル(自己分析) EQ動画作成(グループ演習課題) 方法と進度予定 基本的にはオンラインと月一回の集中講義で 半期16コマ以内で日程調整 1)毎週月曜日 5限目 10月、11月、12月 4講座=10講座 2)集中講義(第3もしくは4土曜日) 4限目・5限目 10月、11月、12月 2講座連続×3回=6講座 Class contents, methods, and schedule Online classes in principle + face-to-face classes on Saturdays (Online participation is also possible) Expected Outcome: Cultivation of leadership skills through understanding and self-utilization of EQ (1) Understanding EQ (8 elements of EQ): (Lecture + GW) 	
	 (ii) Ideal EQ model (self-analysis) 3) Creation of EQ video (group exercise assignment) Method and schedule of progress Basically, online and monthly intensive lectures, with a maximum of 16 sessions per half year. (1) Every Monday, 5th period First half of the year = April, May, June 4 courses = 10 courses Second half of the year = October, November, December 4 courses = 10 courses (2) Intensive lecture (3rd or 4th Saturday) 4th and 5th periods First half of the year = April, May, June 2 consecutive courses × 3 sessions = 6 courses Second half of the year = October, November, December 2 consecutive courses × 3 sessions = 6 courses 	
成績評価方法	講義内容の理解度と自分自身への持論への展開の独創性と明確化に評価の焦点を置きます。出席(授業への参加度)、理解 確認試験、小テスト、レポート、出席率を総合的に評価 1. 平常点 :60%(出席率、授業への参加度) 2. 演習課題:20% 3. レポート:20% <評価ランク> S特優(90-100%)	
	A優 (80-89%) B良 (70-79%) C可 (60-69%) D不可 (0-59%) 理解度のフィードバック 講義時間内において、中間理解度確認や期末の理解度確認及び総合レビューを行い理解度に関するフィードバックを行うこ とにより理解を深める	Z
https://unipa.bureau.tohoku.ac.j	ן ברבי א באייב איט ס p/uprx/up/bs/bsa004/Bsa00401.xhtml	2/4

025/07/18 10:44		1	UNI	VERSAL PASSPORT R	<[1]			
		the student's own pe quizzes, reports, and	0% (attendance rate, class ent: 20%. (90-100%) %) D-69%)	sive evaluation of attend				
教科書および参考書		1						
書名	著者	首名	出版社	出版年	ISBN/ISSN	資料種別		
教科書及び参考書 講義で活用する教材は、 すべて、講義の中で配布 する予定です	refe All utili will	tbooks and erence books materials to be ized in the lecture be distributed ing the lecture						
EQリーダーシップ: 成功 する人のこころの知能指 数の活かし方	· ·	ニエル ゴールマン), 土屋 京子 (翻訳)	日経BPマーケティング (日本経済新聞出版)	2002/6/1	978-4532149758	参考書		
Emotional Intelligence: Why It Can Matter More Than IQ	Dar	niel Goleman	Bantam	2005/9/27	13978-0553840070	参考書		
授業時間外学修		予習復習: 授業後の関連知識や理論に関しての復習が必要になります。次の講義に必要な復習の時間を各回1時間から3時間程度を目安に必要になります 学習姿勢: 主体的な授業参加と授業後の復習が求められます。特に経営理論やキャリア理論、EQに関する諸理論を学習し理解したことをどのようにキャリアデザインに反映させるかについて考えることが求められます。 Preparation Review: You will need to review after class regarding related knowledge and theory. (You will need to allow 1 to 3 hours of review time for each lecture. Learning Attitude: Students are expected to participate proactively in class and review after class. In particular, students are expected to think about how to apply what they have learned and understood about management theory, career theory, and various theories related to EQ to their career design.						
実務・実践的授業 ※○ は、実務・実践的授業である ことを示す。 篇 関 関		○ <実践的教育> この講義は、文部科学省で推奨される『実務経験のある教員による授業科目』として、「キャリアデザインに関する実務経験 を授業に活かし、実践的教育を行う授業科目』に位置付けられる。担当教員は、30年超の企業人事経験と国家資格であるキ ャリアコンサルタントとしての労働市場における人材供給事業を営む経営者の実践的経験を通じて、企業や様々な社会的組 織で発生している雇用を取り巻く様々なプロセスである採用、教育、評価、処遇、退職、離職後のキャリアなど一連の雇用 関係イベントのリアリティに基づく学習と演習を通じて、履修学生に自己内在化するための実践型の教育構成となってい る。						
授業へのパソコン持ち込み		必要	·····································					
連絡先(メールアドレス等	手)	全学教育HP掲載の「	全学教育科目授業担当教員	連絡先一覧」を参照。				
		1						

その他	学習姿勢: 主体的な授業参加と授業後の復習が求められます。特に経営理論やキャリア理論、EQに関する諸理論を学習し理解したこと をどのようにキャリアデザインに反映させるかについて考えることが求められます。 Learning Attitude: Students are expected to participate proactively in class and review after class. In particular, students are expected to think about how to apply what they have learned and understood about management theory, career theory, and various theories related to EQ to their career design.
更新日付	2025/3/14

1単位の授業科目は、45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としています。1単位の修得に必要となる学修時間の目安は、「講義・ 演習」については15~30時間の授業および授業時間外学修(予習・復習など)30~15時間、「実験、実習及び実技」については30~45時間の授業および授業時間外学修(予習・復習など)15~0時間です。